

予防接種を受けよう!

予防接種を受ける前に…

- 接種当日は、子どもの健康状態を把握している保護者が同伴してください。
- 母子健康手帳と予診票は必ず持参してください。
- 予診票は記入もれのないよう、丁寧に記入してください。
- 少しでも体調に不安を感じる時は、延期しましょう。

接種医療機関について

- 町外の医療機関での接種を希望する場合は、接種券が必要です。接種券は保健センターでお渡しします。
- 里帰り等で県外での接種を希望する場合や、医学的な理由で指定外の医療機関での接種を希望する場合は、事前に保健センターで手続きをしてください。

ワクチンの接種間隔について

生ワクチンは接種後
27日以上（4週間）あけると

不活化ワクチンは接種後
6日以上（1週間）あけると

次のワクチンを
接種できます

ワクチン (赤ちゃんから10歳まで)	ワクチン の種類	乳児期								幼児期						学童期					
		2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9-11 か月	12-15 か月	16-17 か月	18-23 か月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳
インフルエンザ菌b型(ヒブ)	不活化	①	②	③						④											
肺炎球菌	不活化	①	②	③						④											
B型肝炎	不活化	①	②				③														
4種混合(DPT-IPV)	不活化		①	②	③						④				(7歳6か月未満)						
BCG	生				①																
麻しん・風しん(MR) 注1	生								①							②(年長)					
水痘	生								①		②										
おたふくかぜ ※任意接種ですが、海田町では 1回分の助成が受けられます	生								①							②					
日本脳炎 注2	不活化														①②	③				④	(13歳 未満)

注1 海田町では、麻しん・風しん2期(②)の予診票は年長の4月に個別に郵送しています。
注2 海田町では、日本脳炎2期(④)の予診票は小学4年生4月に個別に郵送しています。

望ましい接種期間 (オレンジ色)
定期接種の接種可能な期間 (水色)

ワクチン (11歳以降)	ワクチン の種類	11歳	12歳	13歳	14歳
二種混合(DT) 注3	不活化	①			
ヒトパピローマウイルス(HPV)	不活化			①②③ (中1)	(高1まで)

注3 海田町では、二種混合(DT)の予診票は小学6年生4月に個別に郵送しています。

計画的に
予防接種を
受けましょう。



妊娠中、特に気をつけたい感染症

感染症の中には、妊娠中や分娩中に赤ちゃんに大きく影響するものがあります。たとえば…

風しん

妊娠初期に抗体検査をしますので、風疹抗体が低かった場合には同居の家族が予防接種を打つなど、妊婦さんに感染させないように気をつけます。妊婦さんは出産後、1か月健診時に麻しん風しん混合ワクチンを接種しましょう。

トキソプラズマ原虫

ネコのフンや土の中、加熱が不十分な肉や生ハムにいる原虫ですが、妊娠中に初感染すると、赤ちゃんに影響が出ることがあります。妊娠中は普段よりも感染しやすいため、ペットのフンの始末や園芸後の手洗いなど衛生面には気をつけましょう。また、生ハムなどの生肉にも注意し、十分に加熱したものを食べましょう。